

Start & Challenge

子どもとスマホの関係考える

子どものスマホの持たせ方や使わせ方について考えるワークショップ「子どものスマホ大丈夫？安心して持たせられる親子関係の作り方」が30日...



ワークショップ

今年発足した「家族のためのニチニチこそだてサロン」(本田亜希子代表)が、市民公益活動事業補助金スタート補助金を受けて開催...

精神対話士で性教育アドバイザーの本田さんは「体の悩みや性的話ができる家庭はどんな話でもできる。スマホをきっかけに親子関係を見直すことにつながれば」と話している。

問い合わせはEメール Mmamakoya@aki-happymom.com 本田さん。



12月15日に「狛江でクラシックVol.8」コンサート

12月15日(日)午後1時30分(1時開場)からエプタザール(和泉本町1-7-16)で「狛江でクラシックVol.8 家族の肖像」が開催される。

遠くへ行けない人にも地元でクラシック音楽に親しんでほしいと、平成22年から演奏会を催している狛江でクラシック企画委員会(神代稔子代表)が市民公益活動事業補助金チャレンジ補助金を受けて開催するもの。



「家族の肖像」を作曲した谷川賢作さん

メインとなる「Family portrait 家族の肖像」は、作曲家でピアニストの谷川賢作さんと、父である詩人谷川俊太郎さんが平成16年に発表した音楽と詩の朗読による組曲。出演はピアノと朗読を神代さんと賢作さん、フルート吉岡アカリさん、チェロ藤森亮一さん、タップダンス藤林真理さんで、鍵盤ハーモニカも登場する。

問い合わせはEメール Mkomaeclassic@gmail.com 神代さん。



Shop & Service Guide ...40 いらっじゃいませ 狛江司法書士事務所



狛江司法書士事務所は、不動産の名義変更、会社の登記、相続手続きなど法務局や裁判所などに関する手続きや書類作成を主に扱っている。

司法書士の仕事は、売買や相続、贈与、財産分与などに伴う不動産の名義変更、抵当権抹消、会社の設立、住所移転や役員など登記の変更、遺産の相続手続きなど、一般の人にはなじみがなく、専門的な知識や手間、時間を要するものが多い。



小澤さんと妻の美雪さん

専門知識生かし手続きや書類作成 休日の業務受け付けが好評

☎3488-3353 東和泉1-29-18第2谷田部ビル303 営業時間=平日午前10時~午後6時/土・日・祝日午後1時~6時 木曜休み

にパーティー会社や鮮魚問屋などに勤めた。32歳の時、トラックを運転中に交通事故に遭って長期の闘病を余儀なくされ一念発起、4年半かけて大学の通信教育を受けるとともに、難関といわれる司法書士の試験に合格した。

資格を取得した平成19年に狛江市内で事務所を開くとともに、川崎市にある横浜地方法務局麻生出張所の相談員として勤務し2年間経験を積んだ。

現在は狛江市をはじめ世田谷区、川崎市、調布市などを中心に様々な業務を扱っており、このうち不動産登記が6割、会社登記が4割を占めるという。司法書士の業務の相手は通常、不動産会社や銀行が中心だが、同事務所は一般の人が多いのが特色。

遺産相続、借金整理など関係者の間でトラブルが起こりがちな仕事も多いが、小澤さんは関係者の話をよく聴いて、納得してもらえるまで説明するよう心がけている。また、必要な書類の取得や手続きのために、北海道や四国など遠方まで出掛けることも多いという。

今年4月に現在の事務所に移転し、妻の美雪さんとともに新たなスタートを切った小澤さんは「面倒な書類作成や手続きをサポートするのが私たちの仕事です。疑問な点などがあつたら、しっかり説明を受けることが必要です。相続などの手続きでは、関係者に気持ちよくはんこを押してもらえるよう心がけています」と話している。

認知症テーマに5年振りの公開講座

スポット

狛江電話訪問はとの会が18日(日)午前10時~正午にあいとぴあセンターで認知症をテーマにした公開講座を狛江市社会福祉協議会と共催で開く。



市川さん

同会は平成2年から65歳以上のひとり暮らしや高齢者のみの世帯、日中ひとりになる高齢者、身体の障がいなどで外出が難しい人など、社会から孤立しがちな人にボランティアの会員20人余りが定期的に電話をかけて孤独感の解消や安否確認を行っている。

同会ではこれまで高齢者などに関わるテーマを取り上げて公開講座を毎年催してきたが、コロナ禍で令和2年に中断、今年5年振りに復活することになった。

当日は、中和泉で認知症カフェを運営するなどの活動を行っている東京都認知症介護指導者でMIRAI Quality代表取締役の市川裕太さんが、認知症の基本的な知識をはじめ、認知症になっても安心して自分らしく暮らせる心構えなどを、具体的な例を挙げて紹介するとともに、参加者の疑問に答える。

対象は市内在住・在勤者で参加費は無料。定員50人(先着順)。申し込みは14日(金)までに電話で。

申し込み・問い合わせ ☎3488-0294 狛江電話訪問はとの会。

9日から火災予防運動 マイ消火器を備えよう

秋の火災予防運動が9日(日)から15日(金)まで行われる。

これから到来する冬は空気が乾燥し、暖房器具の使用が増えるため、住宅火災が急増する。狛江消防署では、火災に備え住宅に消火器を備えるよう呼びかけている。

取り扱い方法が簡単で高い消火能力がある消火器は、持ち運びやすく、早い初期消火につながり、普通火災だけでなく、天ぷら油やストーブ、電気など様々な火災に効果があるなど多くのメリットが確認されている。消火器を使うと



焼損床面積が約2割減り、7割以上のケースで被害の軽減に効果があるという。

問い合わせ ☎3480-0119 狛江消防署。

本場の家庭料理を伝授 国際交流サロンを開催

狛江市国際交流協会(吉野琢也会長)が10月12日(日)に西河原公民館でフィリピン・ネパール料理の講習会を催した。世界各地の文化と交流を深めることを目的に催している「国際交流サロン」のイベントで、小学生からシニアまで20人余りが参加した。

この日は、フィリピン人の氷川ルッファさんが様々な野菜と豚肉をトマトなどで煮込んだ「メヌード」、ネパ-



氷川さん(中央)とドラミさん(右)

ル出身で国際結婚で狛江に住むドラミバドラ マガルさんが、祝い事などで食べるドーナツに似た「セルロティ」を教えた。

参加者たちは本場の味をマスターしようと真剣な表情で取り組んでいた。油で揚げたセルロティは整形が難しく、きれいなリングができると周りから歓声が送られていた。

参加した小学生は「タマネギのみ

じん切りが大変だったけど、初めてなのでおもしろかった。自分で作ったから、すごくおいしい」と話していた。参加者たちは試食しながら「どちらも温かい家庭の味で、おいしい。家でもぜひ作りたい」などと話していた。

七五三詣りを受け付け 伊豆美神社が5日間

伊豆美神社が4日(日)、9日(日)、10日(月)、16日(日)、17日(月)の午前10時~午後3時に七五三詣りを受け付ける。また、10日には境内でプロカメラマンによる撮影(有料)も行う。5日間以外は予約が必要。

問い合わせ ☎3489-8105 伊豆美神社。